

地域振興部

1 定住促進事業 7-1

(1) 定住促進定期券購入費助成事業

市外への転出を抑制するとともに、佐賀市への転入を促進するため、特急列車又は高速バスを利用して市外通勤する者に、通勤のための定期券購入費用（特急料金等）の一部を補助する。

◎ 交付実績

	交付件数	うち新規件数
平成 30 年度	94 件	35 件
平成 29 年度	99 件	53 件
平成 28 年度	67 件	45 件
平成 27 年度	26 件	26 件

※ 平成 27 年 4 月 1 日の基準日以降において、大学・高等学校等を卒業後 2 年以内に就労した者及び市内への転入者のうち本人又は配偶者が転入日において 40 歳未満の者を助成対象とし、月額 15,000 円、36 か月を助成限度とする。

(2) 定住情報発信事業

佐賀市への移住者の増加を図るため、首都圏や福岡都市圏等の移住希望者を対象に、移住フェア等への出展及び移住パンフレットの配布等により定住情報を発信する。

2 まちづくり自治基本条例 6-1

(1) まちづくり自治基本条例推進事業

市民等が主体のまちづくりを進めるためのルールとなる「佐賀市まちづくり自治基本条例」の市民への周知啓発のため作成した、パンフレットやDVDを活用し、出前講座等を開催。また職員を対象とした研修も実施した。

① 平成30年度啓発実績

ア 市民等への周知

i 出前講座、講演等

実施回数：8回

ii 小中学校児童生徒へのマンガ版パンフレット配布

市内小学校3年生全児童へマンガ版パンフレットを配布（小学4年生から中学3年生までの児童生徒は平成29年度までに配布済み）。協働啓発DVDと合わせて、授業等での活用を図った。

iii 事業者向け労政だよりへの記事掲載

実施回数：2回（9月、1月）

イ 職員研修

実施回数：3回（副課長級職員、新規採用職員）

別途、まちづくり自治基本条例周知強化週間を設定し、条例のポイントを全職員に周知した。（8月、2月）

3 地域コミュニティ推進事業 6-1

(1) 地域コミュニティ推進事業

① 設立状況

平成 26 年度から全校区へ拡大する方針が決定し、全校区にて、まちづくり協議会の運営支援及び設立支援を行い、住民自身による地域活性化・地域課題解決に向けた取り組みを進めた。平成 30 年度末現在、30 校区にてまちづくり協議会が設立されている。（平成 30 年度新規設立校区：久保泉、若楠、松梅）

また、多様な主体が自らの役割や連携のあり方について認識を深めるとともに、今後の事業の広がりや協働の可能性を見出し、実践につなげるため、出会い交流することを目的として、「佐賀市地域づくり交流会」を開催するとともに、地域コミュニティサイト「つながるさがし」による周知啓発を図った。

4 市民活動推進 6-1

(1) 市民活動推進事業

① 情報の提供

市民と行政との協働を行っていくために、市民と情報を共有する。同様に、市民活動団体の情報を把握・整理し発信する。

市報や市ホームページによる広報及び各種の広報媒体による情報提供。

② 協働推進窓口

佐賀市まちづくり自治基本条例や協働指針の全庁的な理解を深め、市民等との「協働」による社会や地域の課題解決の取り組みを進める全庁的な体制を構築するため、佐賀市の全部署（学校・公民館を除く）に協働推進窓口を設置し、窓口担当者として協働推進員を配置している。

(2) 市民活動補償制度

市民活動を実践する活動者等が市民活動中に怪我をした場合や死亡した場合、あるいは活動の参加者等に損害を与えた場合などに補償を行う。

① 市民活動補償制度の特徴

ア 市内に活動拠点を置く市民活動団体の年間を通じて計画的・継続的に実施し、広く公共の利益を目的とした市内における自発的な無報酬の活動が対象。

イ 補償対象となる方は指導者や活動者、活動を伴う参加者で、単なる観覧者や活動を伴わない参加者などは除く。

ウ 保険料は市が全額負担。

エ 申し込みや事前登録手続きは不要。

オ スポーツ活動や、活動地と自宅等の往復途上時の事故などは対象に含まない。

② 平成 30 年度事故受付件数

傷害事故 21 件、賠償責任事故 2 件

(3) 協働ステップアップ事業

職員や市民の協働への意識向上を図り、より具体的で効果的な協働の取り組みを進めていく。

平成 30 年度実績

① 庁内に対する協働事業の実態調査

協働の取り組みの実態調査：全庁に対してのアンケート・ヒアリングを実施

[平成 30 年度協働事業実績 257 事業]

② 市民活動団体等の公益活動実態調査（市民活動団体 5 団体、企業 4 社）

③ ヒアリングによる協働事業の追跡調査（8 部署）

④ 人材育成

研修会（年 1 回）

(4) 市民活動拠点運営事業（市民活動プラザ）

① 市民活動プラザ設置の趣旨

佐賀市の市民活動の拠点施設として、多様な市民活動を育成及び支援すること、市民活動に関する情報の収集及び提供に関することを目的として設置した。運営管理については特定非営利活動法人佐賀県 CSO 推進機構を指定管理者とし、市民組織主体の施設運営と市民活動支援を行っている。

② 貸出施設の利用案内

ア 申し込み 使用日の属する月の 4 カ月前の月の初日からインターネットか市民活動プラザ窓口で受付

イ 休 館 日 年末年始（12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで）

ウ 利用時間 午前 9 時から午後 10 時まで

③ 会議室等の利用料金について

ア 会議室

種 類	数	単位	利用料金
大会議室（36 人程度）	1	1 時間	2,500 円（500 円）
中会議室（18 人程度）	3	1 時間	1,500 円（300 円）
小会議室（12 人程度）	3	1 時間	1,000 円（200 円）

※ 利用料金欄の（ ）は市民活動目的利用の場合

イ その他の設備

種 類	数		利用料金
活動共同スペース	6 ブース		月 5,000 円
ロッカー	大	5 個	月 500 円
	中	42 個	月 300 円
	小	48 個	月 200 円
レターケース	264 団体分		無 料

※ 活動共同スペース、ロッカーの年間利用料金を 4 月に前納すると、9 割の金額

ウ コピー機

種 類	内 容	利 用 料 金	
コピー機	白黒	A4・B5	5 円／1 枚
		A3・B4	10 円／1 枚
	カラー	A4・B5	30 円／1 枚
		A3・B4	50 円／1 枚

エ 印刷機（用紙持参）

種 類	内 容	利 用 料 金
印刷機	製版	50 円／1 枚
	印刷	1 円／1 枚（0.5 円／1 枚）

※ （ ）は市民活動利用登録団体の場合

オ 市民活動プラザの利用状況

項 目	平成 29 年度実績	平成 30 年度実績
来場者数	67,574 人	65,885 人
会議室利用率	48.6%	49.9%
利用登録団体数	440 団体	483 団体
レターケース利用団体	141 団体	102 団体
相談支援件数	215 件	181 件
情報収集・発信件数	3,747 件	5,205 件

(5) 市民活動プラザにおける市民活動支援のための事業

市民活動プラザや市民活動について広く一般市民に向けて発信し、施設の利用促進や市民活動に対する関心を高め、佐賀市の市民活動の裾野を広げ活性化につなげることを目的とし、事業を実施する。

事業名：さがんなかまつり

平成 30 年度実績

- ① 受託団体 こどもアートワークショップユニットえりのり
- ② 実施回数 1 回、参加者数（延べ）：1,245 人

(6) 佐賀市市民活動応援制度「チカラット」

市民活動団体の活動基盤の強化を図り、市民のまちづくりへの参加と実践をすすめるために、市民活動団体が行う公益的な事業に対して補助金を交付する。

平成 30 年度実績

- ① 補助率、補助限度額
 - ちかっと部門 補助対象経費の 2/3 以内、上限 100,000 円
※総事業費 150,000 円以下の事業対象
 - カラット部門 補助対象経費の 2/3 以内、上限 300,000 円
- ② 交付実績
 - 交付事業 34 事業（団体）
（ちかっと部門：9 事業、カラット部門：25 事業）
 - 交付確定額 7,715,052 円
（ちかっと部門：736,976 円、カラット部門：6,978,076 円）

5 公民館・農村環境改善センター 5-4

(1) 施設の整備・運営

① 施設の設置状況

種 類	該 当 施 設	運 営 形 態
公民館 (32 館)	勸興、循誘、日新、赤松、神野、西与賀、嘉瀬、巨勢、兵庫、高木瀬、北川副、本庄、鍋島、金立、久保泉、蓮池、新栄、若楠、開成、諸富町、春日、春日北、川上、松梅、富士、三瀬、南川副、西川副、中川副、大詫間、東与賀、久保田	直営
農村環境改善センター (2 施設)	東与賀、久保田	直営

② 施設の管理運営

ア 公民館 (市内 32 館)

公民館の管理運営を行い、地域活動やサークル活動の拠点として活用を推進するとともに、講座等の開催をととして生涯学習の推進、文化の振興及び住民福祉の増進を図る。

オ 農村環境改善センター (東与賀、久保田)

農村環境改善センターの管理運営を行い、市民が地域活動や各種サークルを通じて利用者どうしの交流を図ることで、知識や技術を習得し、生きがいを見出す機会を創造する拠点となる施設として利用する。

(2) 生活体験型通学合宿の実施

地域の各種団体（自治会、子ども会、婦人会、PTA、青少年健全育成団体等）の役員等で構成される「通学合宿実行委員会」や既存の「青少年健全育成団体」が、公民館と連携しながら、地域の実情に応じ、2泊3日、3泊4日等の日程で、小学生の子どもたちが公民館等で異年齢の子どもたちと寝食を共にし、地域の大人の支援を受け、食事の準備、後片付け、掃除、もらい風呂などの生活体験をしながら学校に通う。

平成 30 年度実績	実 施 校 区	23 校区
	参加児童数	434 人
	支 援 者 数 (延べ人数)	1,849 人

6 誰もが親しめる市民スポーツの充実 5-5

(1) 生涯スポーツの推進

① スポーツ教室開催補助事業

スポーツや運動が、より身近なものとして広く浸透するために、スポーツをやりたいと思っている市民に対し、そのきっかけづくりとして各種団体に補助金を交付し、初心者向けスポーツ教室の開催を促す。

○平成 30 年度実績（各種目団体等への教室開催補助）

教 室 名	回数	参加者数
卓球（初心者・ラージボール）教室（5 月～8 月）	10 回	35 人
ジュニアテニス教室（9 月～11 月）	10 回	21 人
初心者スポーツ吹矢教室（9 月～10 月）	5 回	20 人

② スポーツ少年団育成事業

スポーツ少年団は日本最大の青少年スポーツ団体で、小学生を中心に、中学生、高校生まで加入できる。

佐賀市スポーツ少年団に対し補助を行うとともに、事務局として団の運営を支援し、少年団の普及と育成及び活動の活性化を図り、青少年の健全な育成に資する。

○佐賀市スポーツ少年団状況（平成 30 年度実績）

登録状況	登録団 47 団 ・ 団員 831 人 ・ 指導者 138 人
主な活動	市スポーツ少年団大会（7. 9. 10 月） 7 種目 51 チーム 945 人 親子シッパス交流大会（12 月）16 チーム 101 人

③ ニュースポーツ推進事業

年齢や性別、体力、障がいの有無に関わらず、だれもが気軽に楽しめるニュースポーツの特長を活かし、地域スポーツの普及促進の手段の一つとして、ニュースポーツ用具の整備、貸出等を行うとともに、佐賀市スポーツ推進委員と連携を図りながら各地区で出前講座等を行い、ニュースポーツの指導・普及に努める。

職員出前講座	参加者数	種 目
小・中学校での開催(7 回)	633 人	スカットボール、いごてだま、キンボール、ワンバウンドふらばーボールバレーなど
公民館等で高齢者を対象に開催(7 回)	149 人	いごてだま、スカットボール、アトラックゲーム、スポーツウエルネス吹き矢など

④ 総合型地域スポーツクラブ支援事業

総合型地域スポーツクラブとは、多世代、多種目、多志向の 3 つの多様性を柱とする、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブのこと。

「佐賀市総合型地域スポーツクラブ連絡会」において、総合型クラブ間の情報交換や交流の機会等を設け、各クラブの自立の促進を図った。

⑤ スポーツ推進委員協議会活動推進事業

スポーツ推進委員相互の連絡連携を密にするとともに、スポーツ推進委員の資質の向上と地域での実技指導等の活動を円滑にするため、市はスポーツ推進委員協議会の活動に対し補助等の支援を行う。協議会は、自主的活動、自主的運営の体制づくりを確立するため、理事会、総務委員会、研修委員会、事業委員会の各専門委員会を定期的開催、各委員会等での協議・研修をふまえて市民スポーツの推進のための各種活動を行う。

○スポーツ推進委員数 112 人

○各種会議等（理事会、総務委員会、研修委員会、事業委員会）

○研修会（定例研修会、女性委員研修会）

○自主活動（佐賀市まなざしスポレク祭、佐賀市研究大会の開催、佐賀県実技研修会、佐賀県研究大会、九州地区研究大会、全国研究大会への参加）

○バルーンフェスタ、さが桜マラソン、市障がい者体育大会への支援

○市老人クラブ連合会ニュースポーツ講習

⑥ スポーツ推進審議会

本市のスポーツ行政に反映させるため、審議会を開催し佐賀市のスポーツ推進に関し、スポーツに造詣の深い方々に専門的立場から調査、審議、建議していただく。

○佐賀市スポーツ推進審議会委員 15 人

○スポーツ推進審議会の開催 2 回

⑦ さが桜マラソン大会開催事業

佐賀新聞社、佐賀陸上競技協会、佐賀県、佐賀市、神埼市の五者で、平成 25 年度よりフルマラソンとして生まれ変わった「さが桜マラソン」を開催する。沿線の住民及び事業所に対して十分な周知・協力依頼を行い、広報等による市民の機運醸成、ボランティアの確保・管理や、参加者及び来訪者の心に残る大会とするためのおもてなしを行う。

○さが桜マラソン 2019 平成 31 年 3 月 24 日（日）開催

区 分	出走者数	完走者数	完走率
フルマラソン	9,279 人	8,509 人	91.7%
ファンラン	1,584 人	1,520 人	96.0%

・ボランティア数 約 3,000 人 ・沿道応援者数 約 80,000 人

・大会の評価 86.1 点（RUNNET「大会レポ」より）

(2) 競技スポーツの推進

① 佐賀市体育協会との連携事業

公益財団法人佐賀市体育協会（市体協）は、地区体育協会の育成、競技種目協会等の育成、選手の強化、大会の開催などの事業を通し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、市民の健全な心身の発展に取り組む団体である。市体協に補助金を交付することにより、市体協と連携して佐賀市の体育・スポーツの健全な普及・発展を推進する。

○平成 30 年度加盟団体 地区 29 種目等 35

○主な事業 ・各種大会選手派遣費補助（68 件） ・各種スポーツ教室開催（15 教室）
・各種スポーツ大会開催（2 大会）

② 市民体育大会開催事業

市民のスポーツに参加する意欲と関心を盛り上げ、スポーツが生活の中に密着し、健康で明るい郷土づくりに寄与するため、市民スポーツの祭典として開催する。

市内各会場において競技を行い（競技によっては県体予選を兼ねる）、小学校区及び地区対抗で得点を競う。

○市民体育大会（7月）

・19競技30種別を実施 ・参加者 約6,000人

③ 校区対抗駅伝大会開催事業

市が主催し、市体協の協力を得て各地区体協への参加を募り大会を運営する。駅伝競走に親しむことにより、健康と体力の維持・増進を図り、各地区対抗での順位を競う。

また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

佐賀市千潟よか公園周辺において、6区間、23.3kmで開催。

○平成30年度校区対抗駅伝大会（1月）29チーム 298人参加。

④ 県民体育大会への参加

県民体育大会に参加することにより、競技力向上を図る。また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

開催地は、県内を4ブロックに分け、持ち回りで開催。

10月第3土曜日・日曜日、20競技33種目で開催。

○平成30年度 第71回県民体育大会 ※21年連続58回目の優勝

・19競技32種目に参加 ・監督、選手数582人 ・役員数 51人

⑤ 県内一周駅伝大会への参加

県内一周駅伝大会に参加することにより、競技力向上を図る。また、市民のスポーツへの関心を喚起させるため、開催についての情報を提供し、見てもらうことによりスポーツに対する関心を高める。

佐賀県陸上競技中・長距離界のレベルアップと底辺拡大、さらに県民の体力づくりと融和を図ることを目的とし、郡市対抗による、3日間、全33区間、270.1kmで開催。

○第59回郡市対抗県内一周駅伝大会 平成31年2月15日～17日（3日間）

佐賀市成績 第2位（出場13チーム）

⑥ 各種スポーツ大会開催補助事業

スポーツの競技大会は、参加する競技者にとって日ごろの練習の成果を発揮する場であると同時に、市民にとってはアスリートの姿を目にすることができる絶好の機会となり、競技力の向上や競技人口の増加等にもつながる。生涯スポーツ、競技スポーツどちらにおいても推進を図っていくために必要な支援で、スポーツ大会開催団体へ補助金を交付し、大会の円滑な運営を図る。補助を通して、より充実した大会が開催されることにより、スポーツへの参加を促し、周知啓発に資する。

○平成 30 年度実績

大 会 名	参加者数
土井旗・土井杯争奪思齊館柔剣道大会（4・5 月）	287 人
むつごろう C U P 車椅子バスケットボール大会（6 月）	200 人
佐賀県北部連合尚武会演武大会（9 月）	123 人
三瀬旗少年剣道大会（9 月）	816 人
ムツゴロウ杯卓球バレー交流大会（7 月）	113 人
富士しゃくなげ湖ハーフマラソン大会（11 月）	859 人

⑦ スポーツ拠点づくり推進事業

東アジア随一の天然芝コートを有する「グラスコート佐賀テニスクラブ」で、全国各地から選抜されたジュニアテニスのトップ選手を対象としたトレーニングキャンプ開催を支援することにより、東京オリンピック、佐賀国体で活躍する選手の育成を図る。

キャンプでは、テニスの指導やトレーニング、ルール、栄養指導が行われるほか、一般向けに「公開講座（無料）」を開催。子どもたちや市民が、ジュニアのトップレベルのプレーを観戦することにより、テニスの技術の向上、スポーツに対する関心を高める。

○平成 30 年度実績

第 4 回グラスホパージュニアテニスキャンプ（8 月）

参加選手 134 人 短期体験キャンプ参加選手 9 人 ・公開講座 1 講座

⑧ 少年スポーツ大会開催補助事業

社会体育の一環として、児童がスポーツに親しむことにより、スポーツの普及及び技術の向上を図るとともに、相互の親睦を含め、心身ともに健全な児童の育成を図ることを目的に、種目団体（軟式野球）に補助を行う。

大会名	開催場所	参加者数
佐賀市少年野球大会（7 月）	東与賀運動公園他	24 チーム

⑨ スポーツ合宿推進事業

市内に宿泊し合宿を行うアマチュアスポーツ団体に、宿泊費を補助する。

また、佐賀市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会で国内外のトップレベルチーム等の合宿・キャンプの受入を行い、練習環境の整備や選手と市民の交流事業を実施するほか、各種団体への誘致活動や合宿・キャンプ受入にかかるおもてなし力向上に取り組む。

○平成 30 年度実績

補助金交付団体（7 団体）	延べ宿泊数 1,050 泊
代表・プロチーム等キャンプ （3 団体）	トヨタ紡織ボート部 デンソーボート部 明治安田生命ボート部

○佐賀市スポーツキャンプ誘致・交流推進協議会の活動

・誘致プロモーション事業

合宿誘致営業 プロサッカークラブ 2 チーム、実業団ボート部 3 チーム、
大学合宿誘致説明会 2 大学

・合宿・キャンプ等の受入時の交流

誘致対象国との交流事業 2 か国 2 件

合宿等の受入 実業団ボート部 2 件のべ 4 チーム

- ・おもてなし力向上の取り組み

事前キャンプ受け入れにかかる通訳ボランティア研修会（3 月）

- ・合宿・キャンプ誘致・受け入れのための情報収集・発信

合宿ガイド「サガ」つく合宿の制作・近県大学の運動部等への配布

⑩ スポーツ指導者育成事業

ジュニア期は生涯を通じてスポーツと関わる習慣を身につける重要な準備期であることから、勝利至上主義を見直し、スポーツのあり方や適正な指導方法を指導者、保護者に啓発する必要がある。

少年スポーツ指導者や保護者に対して、ジュニア期におけるスポーツのあり方等についての講演会や研修会を開催し、指導に関する最新の情報を習得し、少年スポーツ指導における正しい指導法確立を支援する。

○平成 30 年度実績

講演会・研修会名	内 容
第 1 回少年スポーツ指導者研修会『少年期におけるトレーニング』 平成 30 年 7 月 17 日 ・参加者 32 人	・「少年スポーツ概論」 ・「実践！日々の練習に役立つトレーニング法」
第 2 回少年スポーツ指導者研修会『スポーツ医学【外科】』 平成 30 年 12 月 17 日 ・参加者 24 人	・「少年スポーツ概論」 ・「少年スポーツの外科的障害と応急処置」
第 3 回少年スポーツ指導者研修会『スポーツ医学（内科）・栄養学』 平成 31 年 3 月 3 日 ・参加者 46 人	・「スポーツ栄養・健康管理」 ・「少年スポーツ概論」

⑪ 第 7 8 回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催準備

2023 年に本市で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の円滑な運営に必要な準備を行うため、福井県で開催された、第 73 回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」競技会場の視察を実施するとともに、国体後の事業概要説明会に参加し、情報収集に努めた

(3) スポーツ施設の整備と活用

① スポーツ施設の整備

市民が日常生活の中で、いつでも気軽にスポーツ施設を利用できるよう、施設の環境整備を進める。

② スポーツ施設の管理・運営

市民が、快適にスポーツや運動に親しむことができるように、利用者の視点に立ったサービスや利便性の向上に努めるとともに、利用者が安全かつ公平に利用できるよう適正な管理・運営を行う。

また、指定管理者制度の導入を図り、民間の能力を活用した住民サービスの向上と施設の効果的な運営に努める。

③ 施設のネットワーク化及び情報提供

市民がインターネットを活用してパソコンや携帯電話からスポーツ施設の空き状況の確認や利用申込等ができる「公共施設予約システム」を運用し、身近なスポーツ施設の情報を発信している。

④ 学校体育施設の開放

市民のもっとも身近にある学校体育施設を有効活用し、スポーツ活動や地域のふれあいの場として、学校教育に支障のない範囲で一般に開放する。佐賀市内の 52 校において、学校体育施設開放運営委員会により管理を行っている。

また、市内の小学校 10 校のグラウンド及び中学校 1 校のテニスコートに夜間照明施設を設置し、利便性向上に努めている。

○ 体育施設一覧

名 称		施 設 の 概 要
体育館	佐賀勤労者体育センター	アリーナ35m×31m バレーボール・バスケットボール2面(ミニバスケット対応可)、バドミントン8面、フットサル、卓球台14台、2階:軽スポーツ、卓球台2台
	市立体育館	アリーナ33m×37m バレーボール・バスケットボール2面(ミニバスケット対応可)、バドミントン8面、トレーニング室、卓球台21台
	諸富文化体育館	アリーナ42m×34m バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン6面、ミニテニス6面、トレーニング室、ステージ 座席数1,294席、卓球台21台
	大和勤労者体育センター	アリーナ30m×35m バレーボール・バスケットボール2面、バドミントン6面、2階:卓球台5台
	三瀬勤労福祉センター	バレーボール2面、バドミントン3面、フットサル、剣道4面、卓球台5台
	スポーツパーク川副体育センター	アリーナ42m×28m バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン6面、フットサル、卓球台18台
野球場	市立野球場	両翼93m、中堅120m 磁気反転式スコアボード 屋内ブルペン
グラウンド	市民運動広場	野球1面、ソフトボール1面、サッカー1面 夜間照明
	西神野運動広場	ソフトボール1面、少年野球1面、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
	嘉瀬川河川敷北グラウンド	野球4面
	諸富公園多目的広場	野球1面、ソフトボール2面、サッカー1面 夜間照明(4月～10月)
	大和中央公園自由広場	野球2面、ソフトボール4面 夜間照明
	春日運動広場	野球1面、少年野球2面、ソフトボール2面、グラウンド・ゴルフ
	富士運動広場	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	富士山村広場	野球2面、ソフトボール2面
	三瀬グラウンド	野球1面、ソフトボール2面 夜間照明
	スポーツパーク川副多目的広場	野球2面、ソフトボール4面、サッカー2面 夜間照明
	川副運動広場	野球1面、ソフトボール1面、グラウンドゴルフ
	東与賀運動公園運動広場	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	久保田グラウンド	野球1面、ソフトボール1面 夜間照明
	久保田補助グラウンド	サッカー、グラウンドゴルフ、陸上競技等
	健康運動センター多目的グラウンド	野球2面、ソフトボール4面、サッカー2面 夜間照明
	健康運動センターサッカー・ラグビー場	人工芝グラウンド1面(夜間照明)、天然芝グラウンド1面、管理棟(更衣室等)
テニスコート	市立テニスコート	砂入り人工芝コート8面 夜間照明
	諸富公園テニスコート	クレーテニスコート2面
	大和中央公園テニスコート	全天候型ハードコート2面(夜間照明)、クレーテニスコート2面
	春日運動広場多目的コート	クレーテニスコート4面
	東与賀運動公園テニスコート	人工芝テニスコート2面・クレーテニスコート2面(夜間照明) ゲートボール場4面
武道館等	市立弓道場	近的射場10人立、遠的射場6人立
	諸富文化体育館多目的室	柔道1面
	スポーツパーク川副武道館	剣道場2面、柔道場2面、弓道場近的射場3人立
	富士運動広場屋内練習場	剣道1面、卓球台4台
	スポーツパーク川副トレーニングハウス	パラエティールーム、トレーニングルーム、ミーティングルーム
	東与賀運動公園スポーツルーム	第1体育室、第2体育室 卓球台5台
相撲場	富士運動広場相撲場	屋根付き相撲場
プール	三瀬プール	25m 5コース(内1コース徒歩用)
	スポーツパーク川副市民プール	50m 8コース
	健康運動センター健康運動館(温水プール等)	メインプール(25m 7コース)、可動床・流水プール、こども用プール、ジャグジー スタジオ、トレーニングルーム、浴室、多目的室

○ 体育施設別利用状況

	施 設 名	区 分	29年度			30年度		
			件数	人数	計	件数	人数	計
	体 育 館	佐賀勤労者体育センター	個人利用	2,438	4,717	50,951	2,660	4,738
団体利用			3,110	46,234	3,200		48,376	
市 立 体 育 館		個人利用	1,632	11,530	69,746	1,611	11,453	69,578
		団体利用	2,891	58,216		2,689	58,125	
諸 富 文 化 体 育 館		個人利用	0	0	54,644	0	0	59,147
		団体利用	2,011	54,644		1,860	59,147	
大和勤労者体育センター		個人利用	3,570	5,875	41,982	3,632	5,702	39,351
		団体利用	2,004	36,107		2,072	33,649	
三瀬勤労福祉センター	個人利用	79	709	10,624	113	765	6,869	
	団体利用	318	9,915		260	6,104		
スポーツパーク川副体育センター	個人利用	0	0	24,897	0	0	24,732	
	団体利用	1,758	24,897		1,895	24,732		
	施 設 名	区 分	29年度			30年度		
			件数	人数	計	件数	人数	計
	グ ラ ウ ン ド	市 立 野 球 場	一般	61	4,918	11,968	63	4,817
高校生以下			97	7,050	91		6,605	
市 民 運 動 広 場		野球	65	728	31,985	7	132	31,644
		ソフトボール	64	1,218		51	1,294	
		その他	666	30,039		601	30,218	
西 神 野 運 動 広 場		野球	46	2,225	20,546	46	2,495	18,499
		ソフトボール	28	1,136		35	2,468	
		その他	262	17,185		226	13,536	
嘉瀬川河川敷北グラウンド		野球	471	1,097	2,240	527	1,321	1,485
		ソフトボール	33	1,041		2	20	
		その他	102	102		135	144	
諸 富 公 園 多 目 的 広 場		野球	27	1,726	34,697	65	1,191	26,865
		ソフトボール	124	2,890		101	2,184	
		その他	371	30,081		350	23,490	
スポーツパーク川副多目的広場		野球	160	4,197	36,451	176	6,243	34,770
		ソフトボール	99	5,227		77	5,222	
		その他	799	27,027		619	23,305	
川 副 運 動 広 場		野球	195	14,746	23,109	209	16,902	23,866
		ソフトボール	0	0		0	0	
		その他	180	8,363		204	6,964	
大和中央公園自由広場		野球	384	13,995	25,158	404	12,911	27,155
		ソフトボール	97	4,235		105	6,762	
		その他	102	6,928		76	7,482	
春 日 運 動 広 場		野球	346	6,525	11,729	343	6,609	13,917
		ソフトボール	26	578		24	1,602	
		その他	274	4,626		360	5,706	
富 士 運 動 広 場		野球	76	1,617	7,161	85	1,545	3,285
		ソフトボール	5	114		3	150	
		その他	63	5,430		34	1,590	
富 士 山 村 広 場		野球	55	2,860	3,890	51	2,550	2,750
	ソフトボール	1	50	1		50		
	その他	12	980	3		150		
三 瀬 グ ラ ウ ン ド	野球	68	3,860	11,694	72	3,698	7,470	
	ソフトボール	5	180		2	66		
	その他	47	7,654		51	3,706		
東与賀運動公園運動広場	野球	431	11,665	24,403	420	11,017	22,019	
	ソフトボール	40	818		44	1,091		
	その他	399	11,920		283	9,911		
久 保 田 グ ラ ウ ン ド	野球	163	5,910	19,944	147	5,237	16,924	
	ソフトボール	19	620		18	649		
	その他	329	13,414		321	11,038		

テ ニ ス コ ー ト	施 設 名	区 分	29年度			30年度		
			件数	人数	計	件数	人数	計
	市 立 テ ニ ス コ ー ト	個人利用	14,482	36,982	52,855	14,178	37,366	50,564
		団体利用	229	15,873		197	13,198	
	諸 富 公 園 テ ニ ス コ ー ト	個人利用	477	3,274	3,274	513	3,318	3,318
		団体利用	0	0		0	0	
	大 和 中 央 公 園 テ ニ ス コ ー ト	個人利用	3,488	5,803	11,462	2,733	4,279	11,197
		団体利用	530	5,659		552	6,918	
	春 日 運 動 広 場 テ ニ ス コ ー ト	個人利用	0	0	22,026	0	0	20,137
		団体利用	858	22,026		826	20,137	
東 与 賀 運 動 公 園 テ ニ ス コ ー ト	個人利用	0	0	7,538	0	0	7,129	
	団体利用	1,560	7,538		1,467	7,129		
武 道 館	施 設 名	区 分	29年度			30年度		
			件数	人数	計	件数	人数	計
	市 立 弓 道 場	個人利用	2,907	2,907	7,693	3,075	3,075	7,351
		団体利用	233	4,786		232	4,276	
	諸 富 文 化 体 育 館 多 目 的 室	個人利用	0	0	5,445	0	0	3,815
		団体利用	336	5,445		283	3,815	
	ス ポ ー ツ パ ー ク 川 副 武 道 館	個人利用	177	198	10,204	428	428	9,392
		団体利用	1,697	10,006		1,672	8,964	
	富 士 運 動 広 場 屋 内 練 習 場	個人利用	0	0	785	0	0	873
		団体利用	64	785		40	873	
	スポーツパーク川副トレーニングハウス	バレーティールーム	383	3,905	4,333	393	7,314	7,934
		ミーティングルーム	32	428		42	620	
	東 与 賀 運 動 公 園 ス ポ ー ツ ル ー ム	個人利用	0	0	6,031	0	0	6,172
		団体利用	539	6,031		567	6,172	
	市 立 体 育 館 ト レ ー ニ ン グ 室	個人利用	11,978	11,978	11,978	11,879	11,879	11,879
	諸 富 文 化 体 育 館 ト レ ー ニ ン グ 室	個人利用	7,581	7,581	7,581	6,433	6,433	6,433
	スポーツパーク川副トレーニングルーム	個人利用	4,338	4,338	4,338	3,884	3,884	3,884
	三 瀬 プ ー ル	個人利用	739	739	2,503	893	893	2,801
		団体利用	142	1,764		137	1,908	
ス ポ ー ツ パ ー ク 川 副 市 民 プ ー ル	個人利用	313	313	1,724	206	206	1,316	
	団体利用	48	1,411		37	1,110		

7 佐賀市健康運動センター 3-4

(1) 施設の設置

佐賀市では、運動を中心とした活動や交流を通じて、市民の健康増進及びスポーツの推進に寄与するため、佐賀市健康運動センターを設置している。

(2) 施設の概要

- ① 所在地 佐賀市高木瀬町大字長瀬 2553 番地 (Tel 36-9309)
- ② 敷地面積 97,517.70 m² (サッカー・ラグビー場 37,546.25 m²を含む)
- ③ 延床面積 5,201.01 m²
 - ※ 健康運動館 4,769.23 m² (1階 4,529.18 m²、地下 240.05 m²)
 - ※ サッカー・ラグビー場管理棟 431.78 m²
- ④ 総事業費 『健康運動館・多目的グラウンド』 27 億 9500 万円 (用地費含む)
(地域総合整備事業債〈ふるさとづくり事業〉)
『サッカー・ラグビー場』 10 億 4100 万円 (用地費含む)
(緊急防災・減災事業債等)
- ⑤ 施設内容 『健康運動館』
温水プール (25m、可動床、子ども用、ジャグジー)、トレーニングルーム (各種トレーニング機器有)、スタジオ、入浴施設、更衣室、管理室、多目的室
『多目的グラウンド』
グラウンド (夜間照明設置)、ウォーキングコース (2 コース)
『サッカー・ラグビー場』
天然芝グラウンド 1 面、人工芝グラウンド 1 面 (夜間照明設置)、管理棟 (ミーティング室、シャワー室有)
『駐車場』
健康運動館南側駐車場 (203 台：多目的駐車場 8 台を含む)
サッカー・ラグビー場駐車場 (124 台：多目的駐車場 4 台を含む)
- ⑥ 竣 工 平成 16 年 5 月 10 日 (建設期間 平成 13～15 年度の継続事業)
 - ※ サッカー・ラグビー場は、平成 26 年 3 月 31 日 (平成 24～25 年度の継続事業)
- ⑦ 供 用 日 平成 16 年 5 月 11 日
 - ※ サッカー・ラグビー場は、平成 26 年 4 月 5 日
- ⑧ 特 徴 敷地北西側に位置する佐賀市環境センター (焼却炉) の余熱利用施設
 - ※ サッカー・ラグビー場を除く

(3) 利用時間

午前 9 時から午後 9 時まで (平日有料エリアは午後 9 時 30 分まで延長)

- ① 多目的グラウンド 4 月 1 日～10 月 31 日 午前 6 時から午後 9 時まで
11 月 1 日～ 3 月 31 日 午前 7 時から午後 9 時まで

② サッカー・ラグビー場

ア 天然芝グラウンド 火、水曜日 5月～8月 午後3時から午後7時まで
4月、9月 午後2時から午後6時まで
10月～3月 午後1時から午後5時まで
土、日曜日 午前9時から午後5時まで

※ 天然芝グラウンドの利用時間については、1日原則4時間

イ 人工芝グラウンド及び管理棟 午前9時から午後9時まで

(4) 休館日

毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）

(5) 管理運営

佐賀市で指定管理者制度を導入した最初の施設であり、現在は4期目の指定期間（2019～2023）を迎えている。指定管理者は運動指導や施設管理に関して専門的な能力を有するサガン・ドリームス／健康科学研究所／古賀商事グループを指定し、施設の管理運営の全般を任せている。

(6) 有料エリアの利用実績

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
営業日数	311	309	310	310	310
幼児	6,593	6,329	6,717	6,902	6,627
小中学生	14,843	15,046	14,790	14,255	13,728
大人	80,340	79,456	79,673	78,200	72,855
65歳以上	59,905	64,334	69,257	73,224	73,776
しょうがい者・介助者	21,476	22,248	22,986	22,277	22,047
総利用者	183,157	187,413	193,423	194,858	189,033

※ 有料エリアは、プール、トレーニング室、スタジオ等の個人の利用料金が設定されたエリア

(7) 多目的グラウンドの利用実績

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	598	722	723	638	640
人数	32,456	34,889	46,648	33,391	34,808

(8) 多目的室の利用実績

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
件数	156	160	167	201	147
人数	2,085	1,540	1,742	2,356	2,036

(9) サッカー・ラグビー場（人工芝、天然芝）の利用実績

施設名	平成 29 年度		平成 30 年度	
	件数	人数	件数	人数
人工芝グラウンド	640	48,021	571	53,528
天然芝グラウンド	114	9,959	116	15,218

※天然芝グラウンドは平成 26 年 8 月から供用開始